

# 南の風



## あじさいの花

校長室だより No.3 令和7年6月2日

柏市立風早南部小学校

校長 伊藤 喜美子



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

梅雨本番を前にして、雨模様で肌寒い日もあり、体調管理が難しい今日この頃です。そのような中、先日の運動会では、子どもたちへの温かい声援をありがとうございました。また、準備や片付けのご協力もいただきありがとうございました。子どもたちは、「つかみとれ 全力・協力・ゴールまで」の運動会のスローガンのもと、一人一人が精一杯自分の力を発揮することが出来ました。自分が頑張るだけでなく、仲間を応援したり協力したりして競技に参加している子どもたちの姿を見て、あじさいの花を連想しました。あじさいの花の季節になってきたこともあり、今月の全校集会では、次のような話をしました。

みなさん、今日は「あじさいの花」の話をします。あじさいの花をよく見ると小さな花びらが集まった小さな花があります。その花がまた、たくさん集まって一つの花になっています。小さな花びらをよく見ると、濃い色の紫や薄い色の紫。白い花びらや青みがかかった白色の花びらなど少しずつ違っています。それが、一つの花としてバランスが取れた色になって、大きな一つの株になって美しい花になります。あじさいの花を皆さんのクラスに例えてみましょう。小さな花びらは皆さん一人一人です。一人一人違っています。濃い紫のような人もいれば、薄い紫のような人、白い人、青い人もいると思います。それぞれ違っていますが、そのまとまりが一つの固まりになっていて、皆さんのグループのようです。さらにそれがいくつも集まって一つの花になっています。皆さんのクラスのようですね。その花のまとまりが大きな一つの木になります。皆さんの学年や学校のようです。一つ一つの花の色は違っていても、それぞれの小さな花びらが、周りの花の色と仲良しの色になって、大きな花になろうとしているから一つの大きな花になった時、美しいあじさいになるのですね。あじさいの花が、隣の花びらと仲良しになって美しく咲くように、クラスのみんなと仲良く協力しながら、自分の良さを出せる人になって欲しいと思います。と話しました。

クラスや学年、学校全体で全力で協力して取り組んだ運動会。その運動会が終わった今、自分の近くにいる仲間と協力して学校生活を過ごして欲しいと思います。一つ一つは小さく様々な色があるけれど、それが集まって調和し合いながら美しく咲いているあじさいの花のように、相手の良さも認めながら自分の良さも出せるような人間関係づくりができるよう、教職員一同取り組んでまいります。引き続き皆様のご理解、ご協力をお願ひいたします。

